

津田迪雄教授のご退職に際して

春の訪れとともに、今年もまた当学部では永年教育・研究に携わってこられた先生方をお送りしなければならない時期となりました。

津田迪雄教授は、1999年（平成11年）3月31日をもって関西学院大学を退職されます。教授は、1953年（昭和28年）京都大学文学部文学科英文学専攻を卒業され、1965年（昭和40年）4月より専任講師に就任以来、今日に至る迄34年の永年にわたって商学部のために尽くされました。

先生のご専門は、英国のロマン派の文学とくに詩人ジョン・キーツの研究ですが、その研究業績は大きく分けますと、キーツの詩の研究とキーツの伝記に関する研究の二つに分かれます。前者の研究は1974年に出版された著書『ジョン・キーツ研究』に集大成され、後者の研究はキーツの伝記やそれに関する新たに発見された資料をもとに、丹念な実証研究を進められており、今後もその成果が期待されます。

また当学部においては、永年にわたって英語教育に貢献されたことは言うまでもありませんが、英語のグループだけでなく外国語グループのとりまとめ役としても尽力してされました。

津田迪雄教授のご退職にあたり、商学部の教育・研究に対する永年にわたるご貢献を称え、深い感謝の意を表すために、ここに記念号を発行できることは大きな喜びであります。

終わりにあたり、この記念論集の刊行に際して、ご執筆いただいた先生方、そして記念号の編集にご協力いただいた論究委員会の先生方に心からお礼を申し上げます。

1999年3月

商学部長 今 井 讓